



啓明小だより

中野区立啓明小学校

校長 鈴木 栄子

〒165-0034 東京都中野区大和町 1-18-1

電話 03-3330-2325 FAX03-3330-2326

ホームページ

<http://homepage3.nifty.com/nk-keimei-e/>

No. 502号 6月号 発行 平成28年5月31日

みんな、輝いていたね

副校長 金村あけみ

5月27日、前日までの雨も上がり、啓明小学校の運動会が開催されました。

今年も朝早くからおやじの会とPTAが中心になって、昨年以上に大勢の保護者の方々が会場設営の準備に携わってくださいました。また練習期間中は子供たちの健康管理や励ましのサポート、心より感謝申し上げます。

保護者や地域の方々の声援の中、子供たちは、競技・表現と、練習の成果を思う存分発揮し、閉会式では、どの子供もやり切った表情で輝いていました。特に6年生は演技の他に鼓笛、係の仕事と大忙しでしたが、最高学年として、実に頼もしい姿を見せてくれました。

また、運動会2週間前の5月13日(土)には、啓明小学校名物のぐりぐら図書館春まつりが実施され、あいにくの雨模様にもかかわらずご来校いただき、ありがとうございました。劇・マジック・科学実験等、図書館の本を題材に各クラスの趣向を凝らした様々な出し物、お楽しみいただけただしょうか。

啓明小学校は本好きな子供が多いですが、ご存知の通り読書にはいろいろな効果があります。

読解力:文章を読むことで「読解力」が身に付きます。この「読解力」は全ての学習の基礎となります。

語彙力:読書で沢山の言葉に触れることで、「語彙力」が上がります。

思考力:読解力と語彙力が備わることで身に付くのが「思考力」です。本の中から様々な情報を読み取り、自分の頭で考えることができるようになります。

表現力:「この表現、いいなあ。」と、感心する表現に沢山出会うことで、「自分も書いてみたい」という思いが生まれ、「表現力」が高まっていきます。

このように書くと、読書を堅苦しいものに捉えそうになりますが、読書の最大の魅力は、読者を「想像の世界」に導いてくれることではないでしょうか。本の中で私たちは様々な人物に出会い、登場人物の心情やその時の情景を想像しながら読みます。この「人の気持ちを想像する」というのは、人と人が関わる上でとても大切なことです。更に、読書はストレスを軽減する効果があるそうで、6分間の読書でストレスの3分の2が軽減されるとか。読書はいいことづくめですね。

さて、学研教育研究所が小学校1~6年生対象に調査した「小学生白書」によると、小学生の好きな教科は1位が算数、嫌いな教科の1位も算数でした。また、将来役に立つと思う教科は?の質問に対する回答も、1位が算数でした。

小学校の算数は、6年間を通して単元や内容が繋がっているため、一つどこかで躓くとその先の理解が難しくなります。本校では一昨年度から東京ベーシックドリルに取り組んでいますが、学校説明会でもお話した通り、今年度から自分がどこで躓いているのかを明確にした上で取り組めるよう、個表を作成することにしました。現在、5月連休明けに2~6年対象に実施した診断シートの結果から、算数少人数担当教諭が中心となって個表の作成を進めています。お子さんが持ち帰ったら一緒に目を通していただき、「ここを頑張ろうね」と声をかけてあげてください。苦手なところを一つずつ克服し、「解けなかった問題が解けるようになった」成功体験が、次の学習意欲に繋がります。また、学習内容を確実に定着させるためにも家庭学習は大切ですので、引き続きご家庭での支援をよろしく願いいたします。

6月の生活目標 「友だちとなかよくしよう」

生活指導部 平石 淑子

学校生活では、多くの友達と関わり合いながら子供たちは、助け合い協力し合うことの大切さを学びます。子供たち同士が互いを思いやり、気持ちよく共に過ごすことにより、楽しく学ぶ体験を通して、自分の考えを広げ深められる人に成長することを願います。

そのために、「気持ちのよい挨拶や返事をする」「友達と誘い合って外遊びし、雨の日の内遊びを工夫する」「友達と協力して、係や当番の仕事をする」など、身近なことから生活を見直します。

相手の気持ちや立場を考えて行動することが今月の目標です。